

PADI® 安全潜水標準実施要項 了解声明書

この声明書は、スキン、あるいはスクーバダイビングのために設定された安全潜水のために実行すべき事項をあなたに知って頂くためのものです。これからの実施要項は、あなたに再吟味して頂き、了解して頂くために、まとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増して頂くという意図のもとに作成されています。あなたはこれらの安全潜水実施要項を知っていますという証拠として、署名をして頂かなくてはなりません。署名をする前に、この声明書をよく読んで話し合ってください。もし、あなたが未成年者の場合には、あなたの保護者（親権者あるいは後見人）にも署名して頂かなくてはなりません。

私、_____（氏名を楷書で）は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しております。

1. ダイビングをするに当って心身共に健康を維持すること。アルコール類や危険性のある薬物の影響下でのダイビングを行うことを避けること。ダイビングスキルは継続教育を通して増やすよう努め、ダイビング活動を休んだ後にはコントロールされた環境で復習をして、常にスキルがさびつかぬ状態を保つこと。
2. 自分の利用する潜水地、スポットをよく知っていること。未知の場合は、現地の知識豊かな情報源から正式のダイビングオリエンテーションを受けること。自分が経験したことのある潜水環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのスポットを代替えとして選ぶこと。自分の受けた訓練や経験に応じた潜水活動にのみ参加すること。
3. 使い慣れた、完全な状態に、よく手入れの行き届いた、信頼のおける器材を使用すること。器材は各潜水前に、正しく調整し、正しく作動するかどうかの点検をすること。認定を受けていないダイバーに自分の器材を使用させぬこと。スクーバダイビングを行う時は必ずBCDと残圧計を装着し、使用すること。バックアップ空気源（オクトパス、etc）や低圧インフレーター（パワーインフレーター）を使用する方が望ましいという事を認識していること。
4. 潜水に関する説明や指示を注意深く聞き、自分の潜水活動を監督する人のアドバイスに敬意をはらい、ないがしろにしないこと。
5. 潜水中は、最初から最後までバディシステムを守ること。自分のバディと、水中での連絡方法や、万一離れ離れになった時に再集合するための方法、および緊急手順などを含む、潜水計画を立てること。
6. ダイブテーブルの使用法をマスターしていること。全ての潜水を減圧不要潜水で行い、安全のための余裕を持たせること。水中で水深や時間を測るに必要な計器を携帯すること。最大深度は自分が受けた訓練および経験のレベルに限定すること。1分間18mの速度で浮上すること。
7. 正しい浮力を維持すること。BCDには空気を入れぬ状態で、水面で中性浮力となるようにウエイト調整をすること。水面移動や水面休息時にはプラス浮力を確保すること。ウエイトベルトはいつでもすぐにはずせるように装着し、潜水中にトラブルが起ったらまずプラス浮力を確保すること。
8. 潜水中は正しい呼吸をすること。圧縮空気を吸っている時には絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしてはならない。また、息ごらえ潜水（スキンダイビング）時の過剰なハイパーベンチレーションを避けること。水面、水面下を問わず、水中にいる時は動き過ぎによる疲労を避け、自分の能力の限界内で潜水すること。
9. 実行可能な限り、ボート、フロート（浮具）、その他の水面用ステーションを設置し使用すること。
10. 各潜水地での漁業規制や、潜水旗の使用などを含む潜水に関する法律や規則に従うこと。

私は上記の声明書を読み、私の質問に対しては私の満足のいく迄答えてもらいました。私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解致しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを認識し、潜水をするに当ってこれら実施要項を守らない場合には私自身を危険にさらすことになるかもしれない事を認識しております。

参加者署名

日付

（未成年者の場合）保護者の署名（親権者あるいは後見人）

日付

潜水行事、活動開催者（責任者又はダイブ・センター）名

担当責任者署名

日付